

### 3.2 散策路・入口部の整備

#### 【整備方針】

- 北鎌倉女子学園入口部は、舗装材が流出しているため碎石舗装による整備を行います。
- 一部副動線（ツノ坂）を整備（園路整地、階段設置、フェンス撤去、側溝設置）します。
  - ・勾配が比較的緩やかな箇所（20%程度）は、園路の整地を行います。
  - ・勾配が比較的急な箇所（25%程度）は、階段の設置を行います。
  - ・既存のフェンスは通行の妨げとなっているため撤去します。
  - ・園路整地及び階段設置範囲については、園路脇に素掘り側溝を設置します。
- その他の散策路については、現道の維持を基本とします。

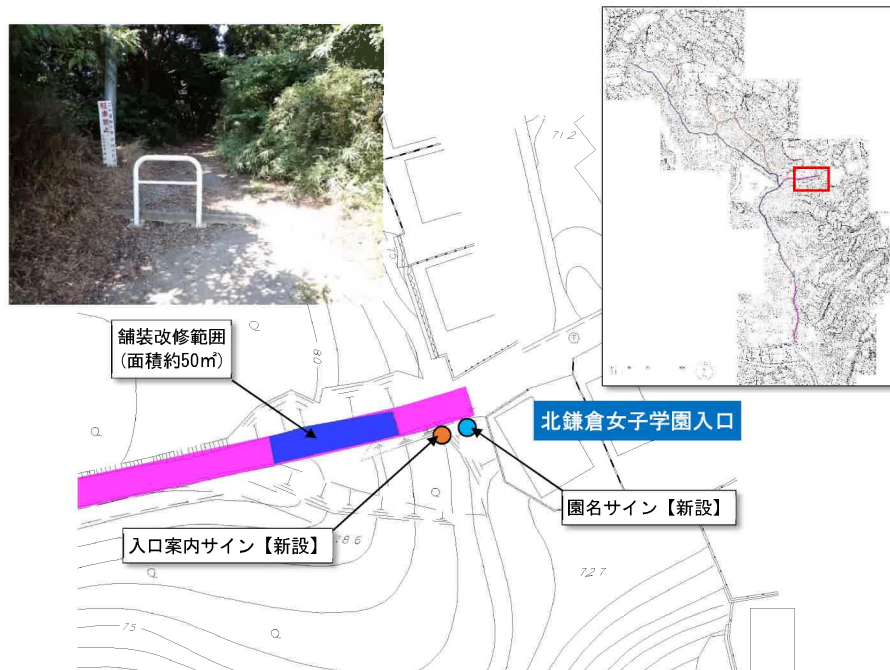


図3.2.1 散策路及び入口部の整備箇所（北鎌倉女子学園入口部）

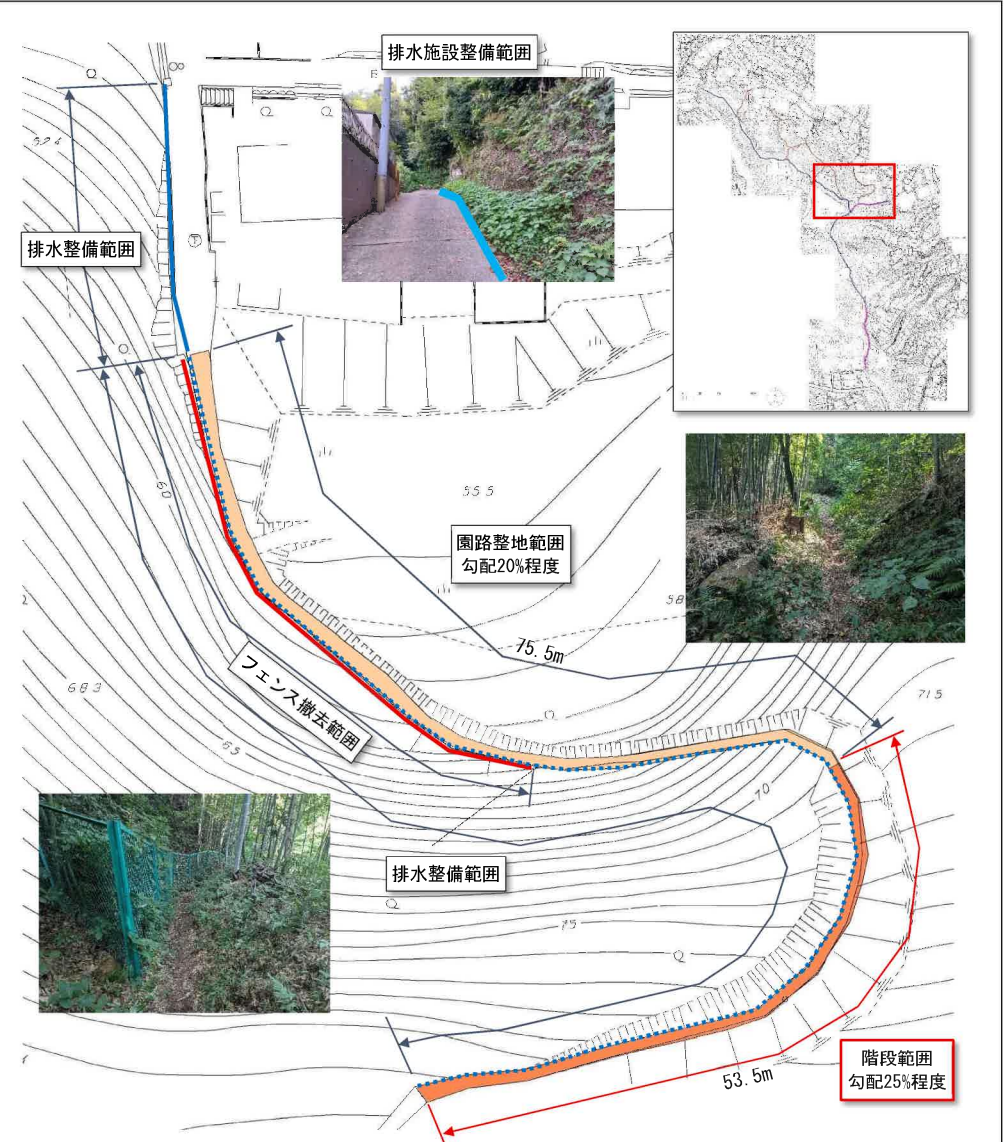
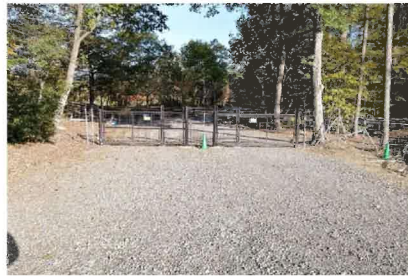


図3.2.2 散策路及び入口部の整備箇所（ツノ坂）

### 3.2 散策路・入口部の整備

砕石舗装イメージ



**【舗装材：砕石舗装】**

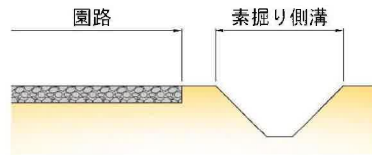
平坦性はやや劣るが、水はけが良く、排水性が高いことから、現状と同様の砕石舗装を採用します。

素 材	砕石
景観性	既存の舗装と同じであり、現状と同じ雰囲気となる。
排水性 透水性	水はけが良く、排水性が高い。
管理の しやすさ	季節により除草などが必要となる場合があるが、砕石の転圧・補充・整地等は容易である。
経済性	材料が入手しやすく、安価であり、補充・補修等も行いやすい。

**【排水：素掘り側溝】**

ツノ坂の階段設置範囲及び通路部は雨天時などにぬかるみが生じ滑りやすい状況にあります。景観に配慮し、園路および階段沿いに素掘り側溝を設け排水性の改善を図ります。

素掘り側溝の構造



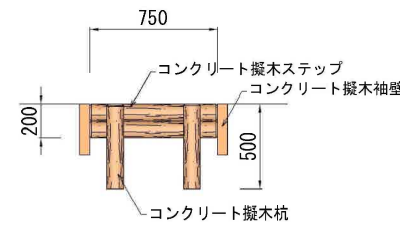
素掘り側溝イメージ



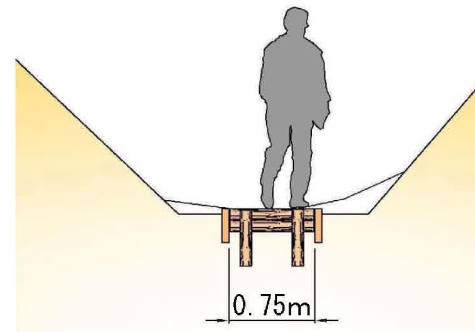
素掘り側溝イメージ



コンクリート擬木階段イメージ



階段設置横断面イメージ



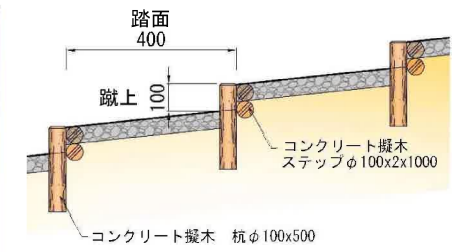
**【階段部材：コンクリート擬木】**

重量があるため現場への人力搬入・運搬を含めた施工がやや難しいものの、自然的な風合いであり耐久性が高いことから、コンクリート擬木を採用します。

素 材	コンクリート擬木
景観性	自然木の目目（樹皮）から型枠制作し、木材のリアルな色合いなど、自然木の風合いを表現し、長期にわたり飽きのこないデザイン。
耐久性	参考耐久年数：約40年程度 20年程度を目安に再塗装を行うことできれいな状態を維持することが可能。湿潤地でも本体の腐食等がない。
施工性	2連丸太と杭はボルトやビス等の連結金具も不要なため組立は容易である。本体重量があるため、現場への人力搬入・運搬がやや難しい。
経済性	耐久性が高いため、長期的な観点から経済的である。

ツノ坂の階段設置範囲の勾配（25%＝約14度）に合わせ、階段の蹴上高さと踏面の幅を設定します。

階段設置縦断面イメージ



### 3.3 階段・柵の整備

**【整備方針】**

- 階段は急勾配（25%以上）の散策路に設置します。
  - ・ 階段の端部に袖壁を設置し、表土流出を抑制します。
  - ・ 階段の素材はコンクリート擬木を採用します。
- 破損している鉄線柵がある箇所は、転落防止柵を設置します。
  - ・ 転落防止柵の素材はコンクリート擬木を採用します。

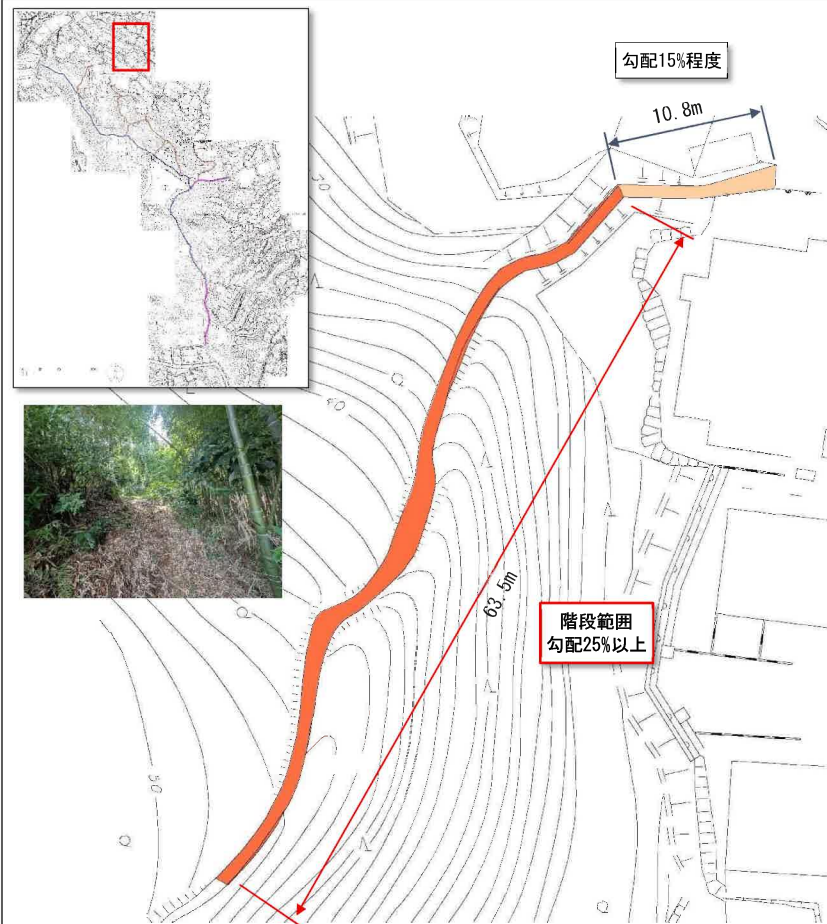


図3.3.1 階段の整備箇所

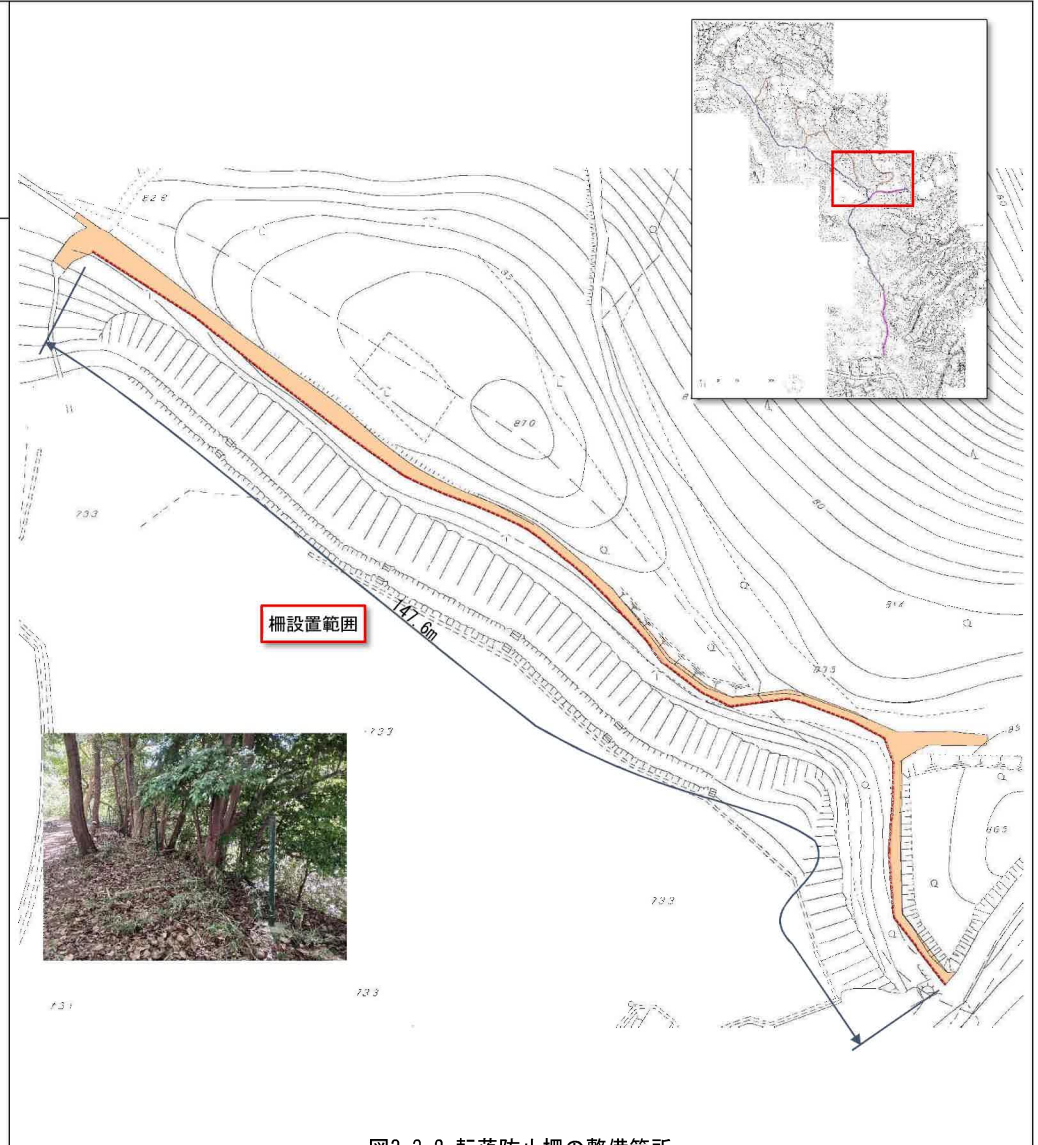
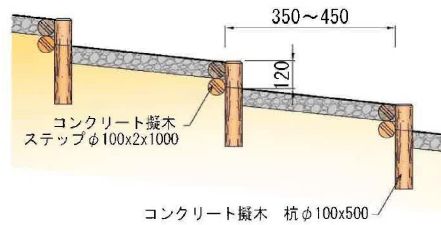


図3.3.2 転落防止柵の整備箇所

### 3.3 階段・柵の整備

副動線園路の階段設置範囲では、勾配が27%~37% (=15度~20度)に変化するため、地形に合わせて階段を設置する必要があります。  
歩きやすさを考慮して蹴上高さが一定寸法（12cm）となるように設定し、踏面の幅は勾配に合わせて設定します。（35cm~45cm）

階段設置縦断面イメージ



階段踏面部の土砂流出を防止するため、階段には袖壁（コンクリート擬木階段と同素材）を設けます。

階段袖壁イメージ

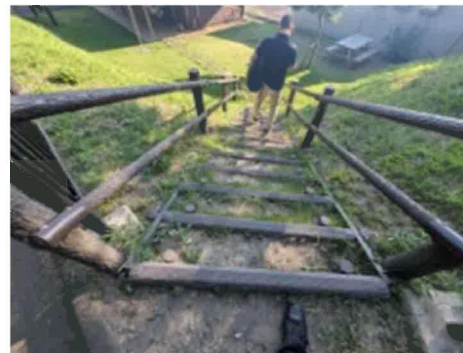


#### 【階段・袖壁部材：コンクリート擬木】

副動線園路の階段については、ツノ坂と同様にコンクリート擬木を採用します。

素 材	コンクリート擬木
景観性	自然木の目（樹皮）から型枠制作し、木材のリアルな色合いなど、自然木の風合いを表現し、長期にわたる飽きのこないデザイン。
耐久性	参考耐久年数：約40年程度 20年程度を目安に再塗装を行うことできれいな状態を維持することが可能。湿潤地でも本体の腐食等がない。
施工性	2連丸太と杭はボルトやビス等の連結金具も不要なため組立は容易である。本体重量があるため、現場への人力搬入・運搬がやや難しい。
経済性	耐久性が高いため、長期的な観点から経済的である。

山崎・台峯緑地における整備例



#### コンクリート擬木柵イメージ



カラーバリエーション（例）



#### テクスチャー（肌目）バリエーション

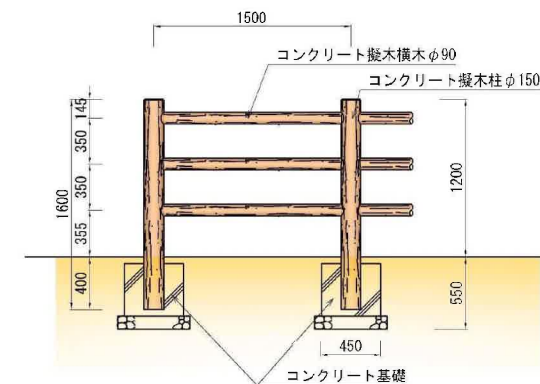


#### 【柵部材：コンクリート擬木】

重量があるため現場への人力搬入・運搬を含めた施工がやや難しいものの、自然的な風合いであり耐久性も高いことから、コンクリート擬木を採用します。

素 材	コンクリート擬木
景観性	自然木の目（樹皮）から型枠制作するため、リアルな質感や肌目を表現し、自然になじむ。コンクリート製品のずっしりとした安心感を人に与える。
耐久性	参考耐久年数：約40年程度 支柱と横木が個別連結であるため、倒木などで破損した場合などスパン単位で横木のみ交換も可能。 再塗装により、きれいな状態を維持することができる。
施工性	部材の組み立ては比較的容易であるが、重量があるため、現場への人力による搬入・運搬がやや難しい。
経済性	耐久性が高いため、長期的な観点から経済的である。

コンクリート擬木柵標準構造図



### 3.4 サインの整備

**【整備方針】**

- 主・副入口に入口案内サイン、園名サインを設置します。
  - ・入口案内サインに二次元バーコードによる電子案内を掲載します。
  - ・入口案内サイン、園名サインの素材は天然木を採用します。
- 主動線からの分岐部に誘導サインを設置します。
  - ・誘導サインの素材は天然木を採用します。

---

■ 園名サイン：主・副入口に設置します。      ■ 入口案内サイン：主・副入口に設置します。

園名サインイメージ

入口案内サインイメージ

■ 誘導サイン：主動線からの分岐部に設置します。

誘導サインイメージ

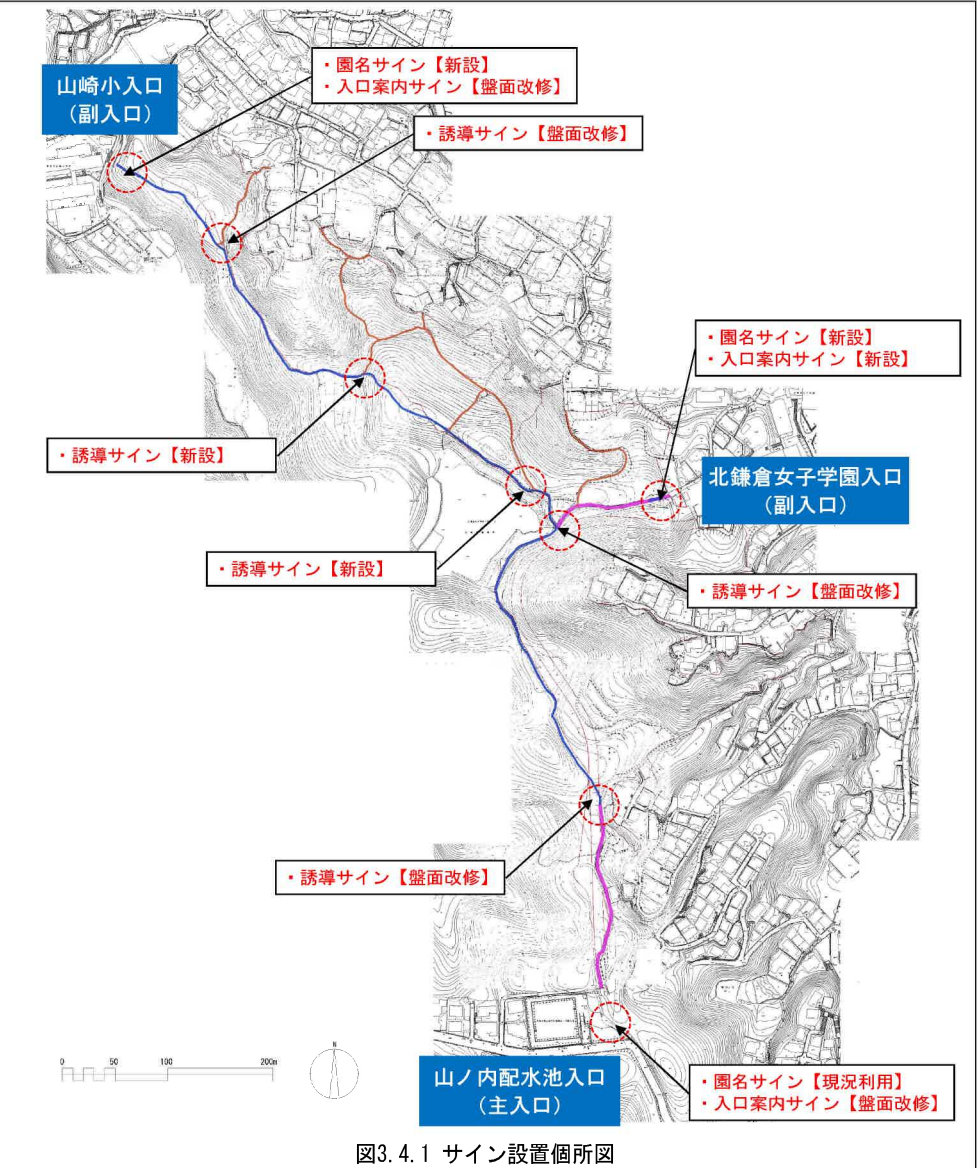
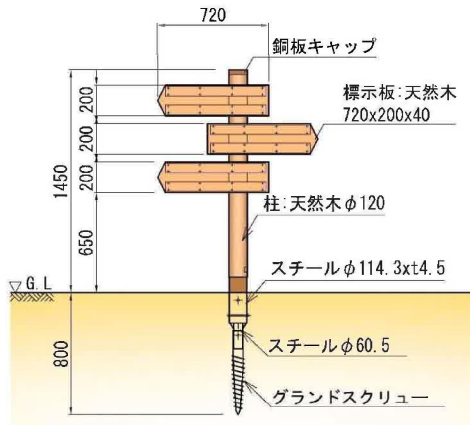


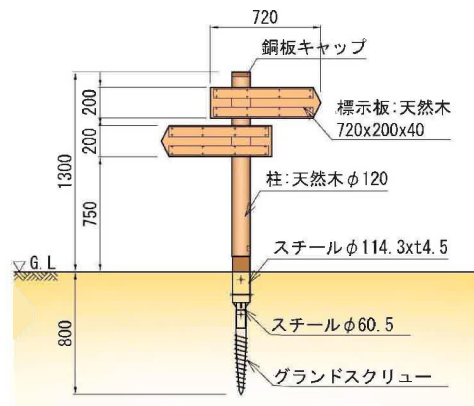
表 3.4.1 二次元バーコードによる電子案内（案）

鎌倉中央公園（参考）					山崎・台峯緑地（案）	
コンテンツ	①トップ	②フィールドマップ	③みどころ	④クイズラリー	⑤フォトギャラリー	<p>①トップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山崎・台峯緑地の紹介</li> </ul> <p>②フィールドマップ・ルート案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山崎・台峯緑地を対象とする。</li> <li>散策ルートの紹介（しっかり・軽く など）</li> </ul> <p>③みどころ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広場からの眺望</li> <li>谷戸の池の景観</li> <li>ヤマザクラ等の植生</li> </ul> <p>④クイズラリー</p> <p>⑤フォトギャラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広場からの眺望</li> <li>谷戸の池の景観</li> <li>ヤマザクラ等の植生</li> </ul>
	<p>⑥生き物紹介（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山崎・台峯緑地内に生息する動植物の紹介</li> <li>危険生物（ヘビ・スズメバチ等）に関する注意喚起</li> </ul> <p>⑦禁止事項等（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>禁止事項（既存マップ右上）や維持管理のルールを追加</li> <li>二輪車（オートバイ・自転車）通行のルールを追加</li> <li>盗掘等のマナー・注意喚起を追加</li> </ul> <p>⑧ボランティアの情報（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動団体の紹介</li> <li>活動日、作業員募集の周知</li> </ul>	<p>⑨参考：大阪府うめきた公園</p> 				
多言語対応	2か国語					○4か国語(案)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語、英語</li> </ul> 					<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語、英語、中国語、韓国語</li> </ul>  <p>(参考) 滝野すずらん丘陵公園</p>  <p>(参考) 豪徳寺</p>

■ 誘導サイン一般図①



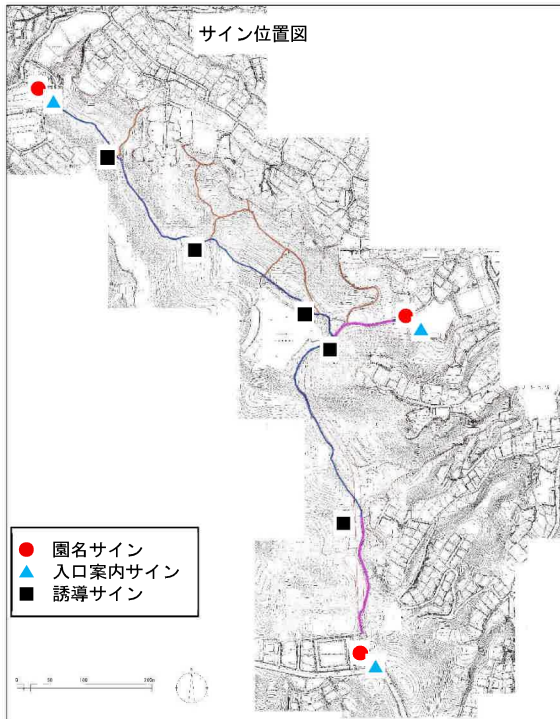
■ 誘導サイン一般図②



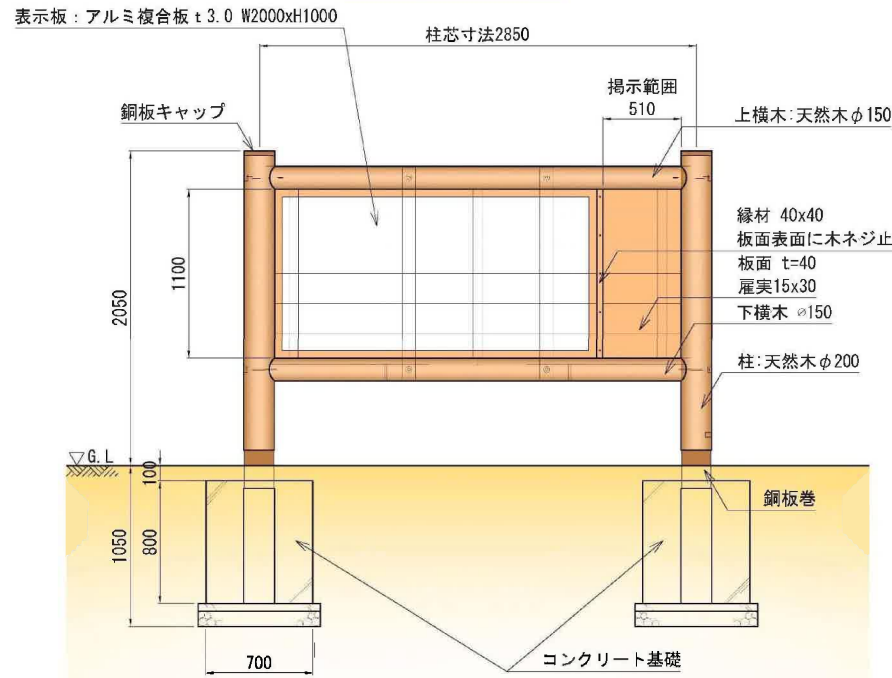
【サイン部材：天然木】

耐久性・経済性・景観性・施工性に優れ、既設サインと同様の素材であり調和が図れることから、天然木素材を採用する。

素 材	天然木材(杉材)
景観性	自然景観になじむ素材であり、既設サインと同じ形状となる。 経年により1年程度でシルバーグレーへと変色する。 天然物のため形状加工自由度が高い。
耐久性	参考耐久年数：5～10年程度（条件により短くなる） 耐候性をもたせるために防腐剤注入が必須。 湿度腐朽に弱く、湿潤地での使用は通常条件より耐久性が落ちる。
施工性	重量が軽く、施工が容易。
経済性	軽量であり施工性が高く、施工費を含めた費用が安価である。



▲ 入口案内サイン一般図



● 園名サイン一般図

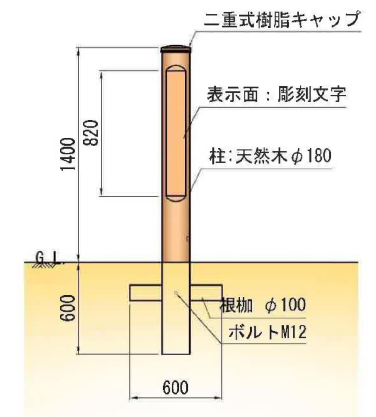


図 3.4.2 誘導サイン・園名サイン・入口案内サイン一般図

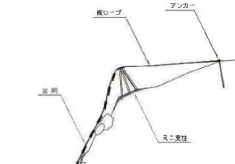
### 3.5 急傾斜地対策の整備

#### 【整備方針】

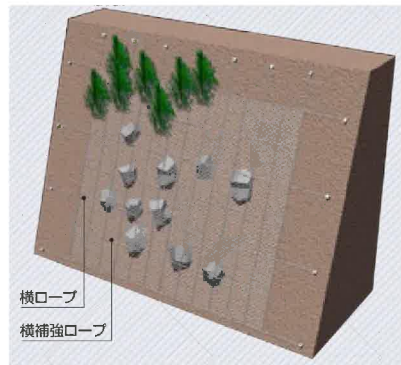
- 測量調査の結果に基づき、民家や通行人への影響が生じる可能性のある急傾斜地に対して、落石対策を講じます。
- 山崎・台峯緑地の景観に配慮し、ワイヤーの色をダークブラウンに塗装する等、景観に配慮します。
- 工法については、本緑地内において既に整備実績があり、経済性の高い覆式落石防護網工法を採用します。なお、急傾斜地①～⑤については、覆式落石防護網工設置箇所の上方部にも急傾斜地が続くことから、ミニ支柱を追加し、上法部からの小規模落石も補足して法尻まで誘導します。



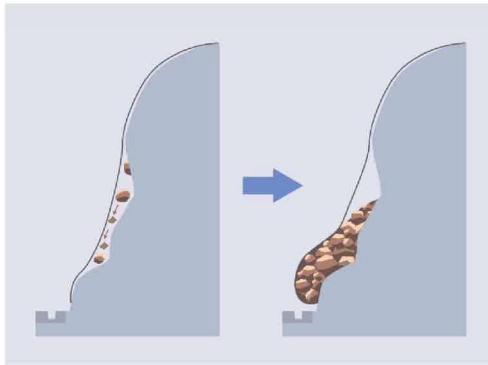
覆式落石防護網【既設】  
（急傾斜地③西側箇所）



ミニ支柱式落石防護網工



覆式落石防護網イメージ



断面イメージ

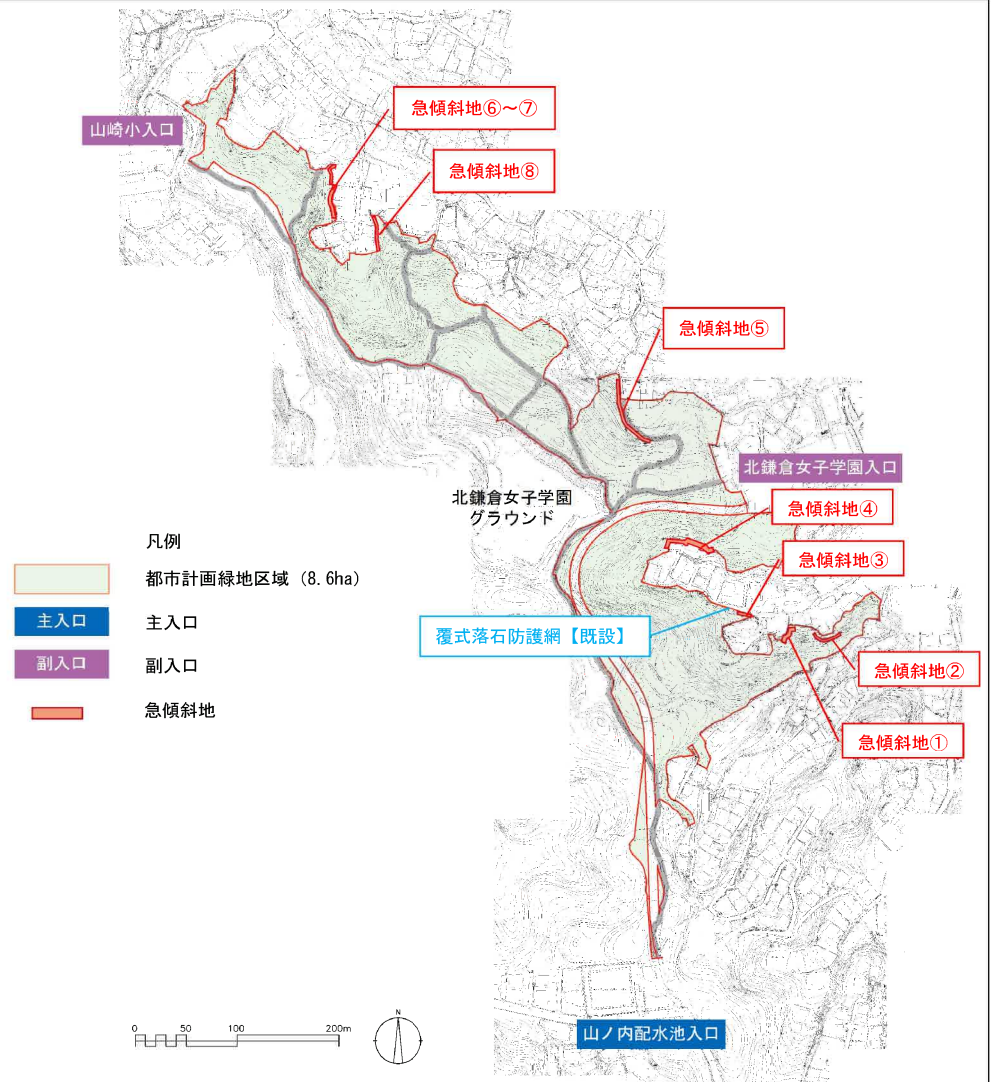


図3.5.1 急傾斜地対策位置図

### 【各地点における現状整理と対策工法の整備方針】

本緑地の各地点における傾斜地周辺の状況及び状況を踏まえた対策工法の整備方針は以下の通りとします。

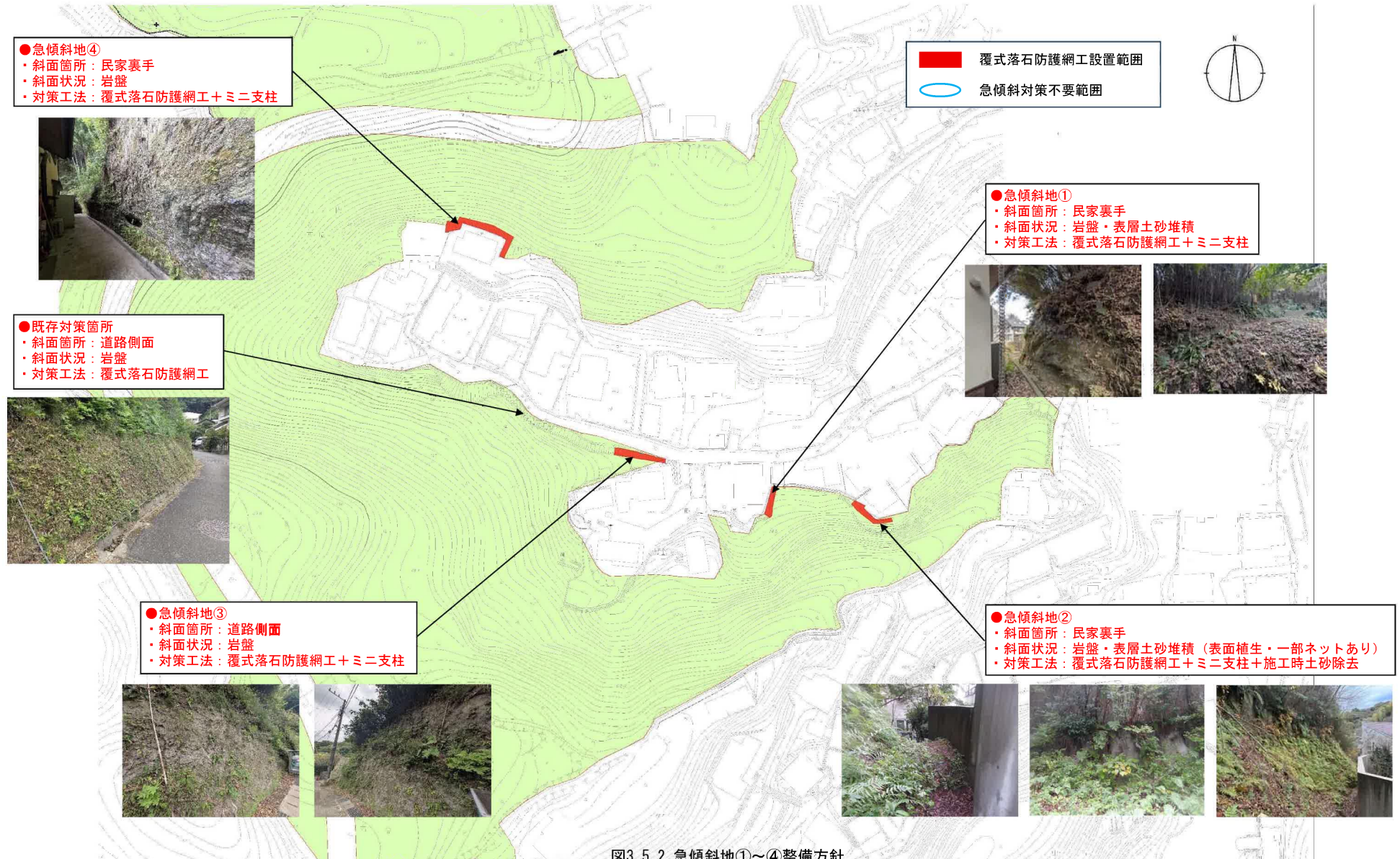


図3.5.2 急傾斜地①～④整備方針

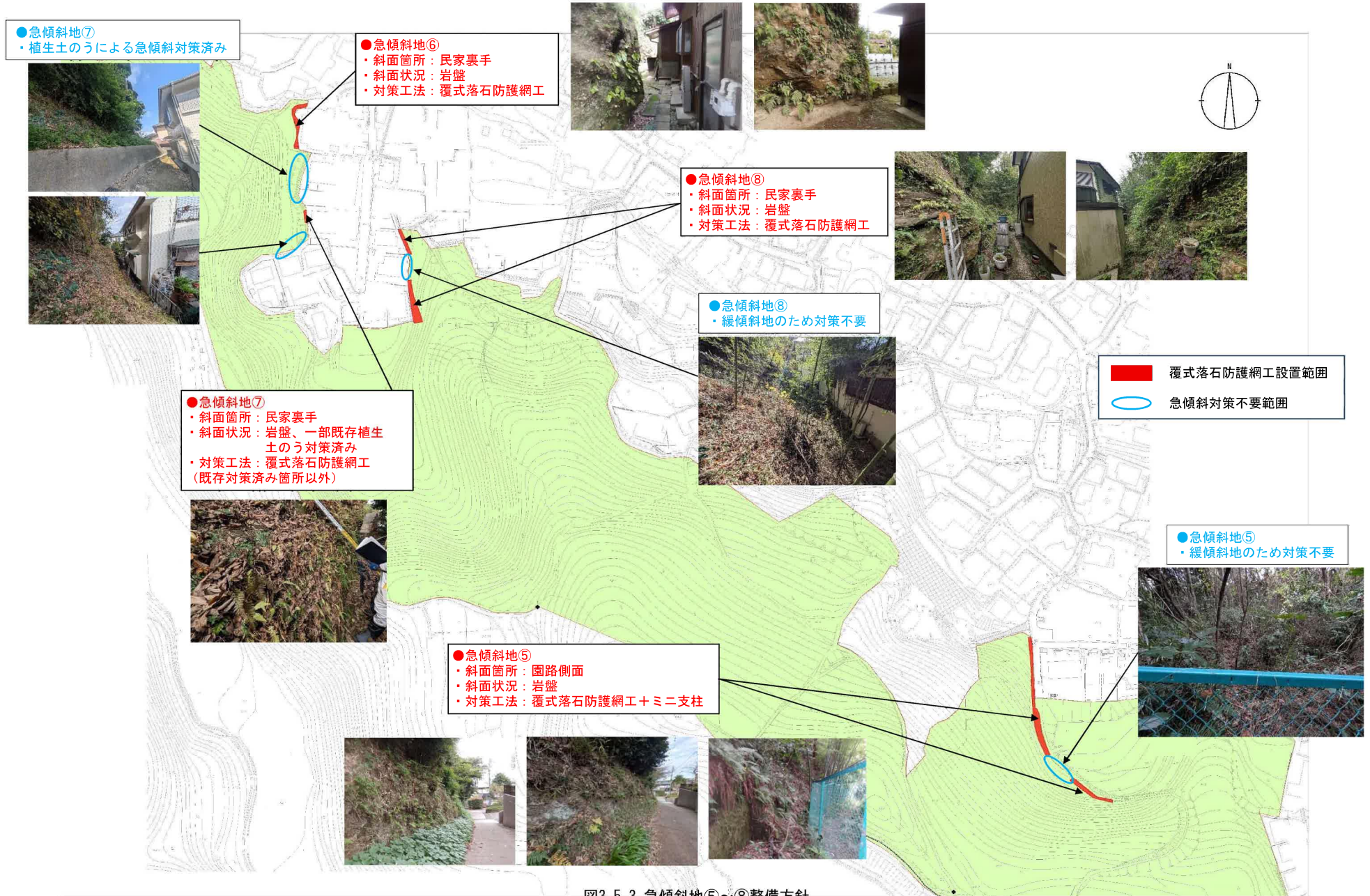


図3.5.3 急傾斜地⑤～⑧整備方針

【落石防護対策の工法選定】

本緑地においては剥落や落下の危険性がある発生源をネットで覆うことで、園路や通路、民家への被害抑制を目的としており、現地踏査・測量調査の結果、ほぼすべての傾斜地が岩盤で形成された傾斜地であることから、本緑地では、既に整備実績があり経済性の高い「覆式落石防護網工」を採用します。

表 3.5.1 落石対策選定工法概要表

工法名	覆式落石防護網工概要													
概要図														
特徴構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地山との結合力を失った岩石をネット自重と地山との摩擦・ネット張力により拘束する。</li> <li>◆ ネットと地山の間を斜面に沿って法尻まで誘導する工法である。</li> <li>◆ 溶融亜鉛めっきあるいはアルミ合金めっきを施しており、耐久性に優れている。</li> <li>◆ 台峯緑地内にて整備実績がある。</li> </ul>													
施工性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 仮設足場は必要なく、施工器具も軽微である。</li> <li>◆ 金網のかかる範囲は伐採が必要。</li> <li>◆ 施工箇所の端部にのみアンカーを打設する構造のため、狭小地においても問題なく施工できる。</li> </ul>													
景観性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ワイヤーや金網などを塗装することで、周辺の緑地となじむ色合いとすることが可能である。</li> <li>◆ 網の掛かる部分では伐採が必要。</li> </ul>													
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 部材が破損した場合には補修であるが、補修は容易である。</li> </ul>													
経済性	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">■ 覆式落石防護網工</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">H=</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">10.0m</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">L=</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">100.0m</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1,000.0㎡</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">15,000 円/㎡</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: right;">15,000,000</td> </tr> </table>		■ 覆式落石防護網工	H=	10.0m	L=	100.0m			1,000.0㎡	×	15,000 円/㎡	=	15,000,000
■ 覆式落石防護網工	H=	10.0m	L=	100.0m										
	1,000.0㎡	×	15,000 円/㎡	=	15,000,000									

### 【覆式落石防護網の景観配慮】

本緑地の自然豊かな景観になじませるため、覆式落石防護網にタフコーティッド塗装を行います。この塗装を行うことで、ワイヤーや金網をダークブラウンなど周辺環境に合わせた色に着色します。下記の事例に示すように、ダークブラウンのタフコーティッド塗装をすることにより、ワイヤーや金網が目立ちにくくなります。

タフコーティッド製品の特長

#### 優れた基本物性

飽和ポリエステル樹脂は優れた機械的特性、耐紫外線特性、耐摩擦性、化学的安定性等を有しています。

#### 耐久性は亜鉛めっきの4倍

鋼板を用いた屋外暴露試験、促進腐食試験の結果、アルミと同等の防錆効果が確認されており、三宅島海岸暴露試験においても実験開始から27年経過後もほぼ健全な状態が確保されています。

#### 高い塗膜強度・定着力

高い塗膜強度と伸びを有しているため、ワイヤロープ・金網等の変形する製品への塗装に対しても高い信頼性を確保しています。

自由な着色が可能

周辺環境に合わせ、自由に着色ができますので景観保全にも効果的です。



推奨色

  
ダークブラウン  
[こげ茶]

  
グレーベージュ  
[晴灰茶色]

  
ダークグレー  
[濃灰色]

  
オフグレー  
[晴灰色]

色は国土交通省景観ガイドライン指定の4色よりダークブラウンを多くご採用頂いております。




タフコーティッド事例



ダークブラウン塗装金網拡大図

#### タフコーティッドの特徴

項目	試験名・内容	測定方法	結果
耐食性	塩水噴霧試験方法	JIS Z 2371	6ヶ月間で発錆・膨れ無し
耐候性	三宅島屋外暴露試験	JIS K 2381	設置時～平成15年7月(27年経過) 異常なし
海水浸漬試験	横浜沖 3ヵ年	—	異常なし
燃焼ガス成分	有毒ガスの発生	JIS K 7217	無し
有害成分の浸出		JWWA Z 108*	全て基準値以下

※JWWA Z 108:厚生省令第15号の規定に基づく厚生省告示第45号による浸出試験。

#### タフコーティッドの特性

【覆式落石防護網工の検討図】

覆式落石防護網工の設置に当たっては、下記に示すように、対象地において急傾斜地となっている箇所について、測量調査結果を基に設置範囲及び設置高を決定します。  
 一例として、急傾斜地⑤箇所については、一部区間は緩勾配となっていることから、構造物の範囲を最小限とすることを踏まえ、この区間は落石防護網工を設置しない形としています。

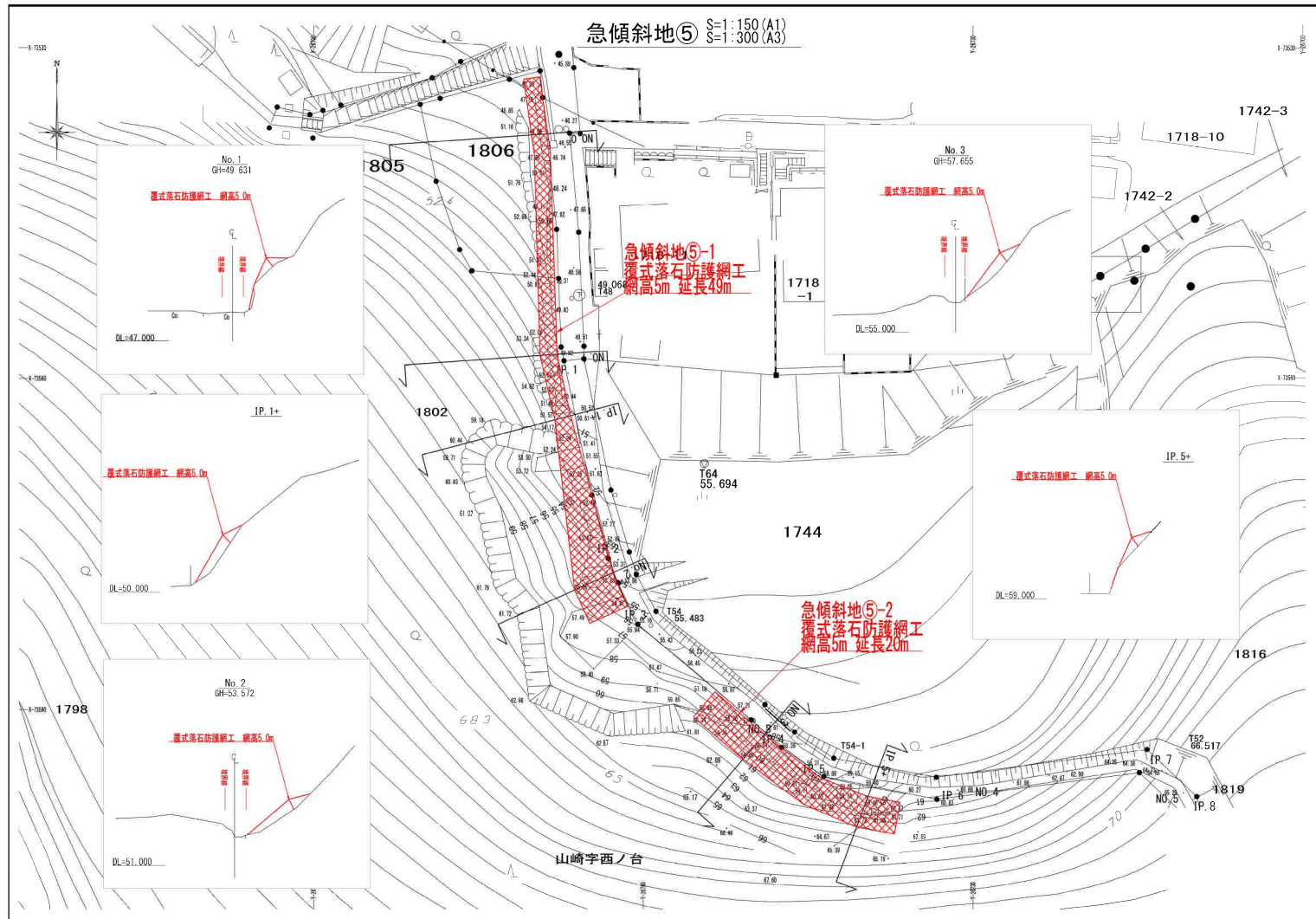


図3.5.4 覆式落石防護網工詳細検討図